2014 年 7 月 16 日

報道関係者各位

ワタミグループ最大規模のメガソーラー事業へ融資
～再生可能エネルギー事業推進のため市民ソーラーシステムと提携～

ワタミ株式会社（所在地：東京都大田区、代表取締役社長：桑原 豊）は、この度、再生可能エネルギー事業推進を目的として、株式会社市民ソーラーシステム（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：吉住謙、以下「市民ソーラーシステム」）と事業提携に関する基本合意書を締結し、北海道勇払郡むかわ町にて、年間発電量約 20,000 千 kWh と、ワタミグループでは最大規模となる再生可能エネルギー事業として、第 2 基目のメガソーラー（大規模太陽光発電）事業に参画します。

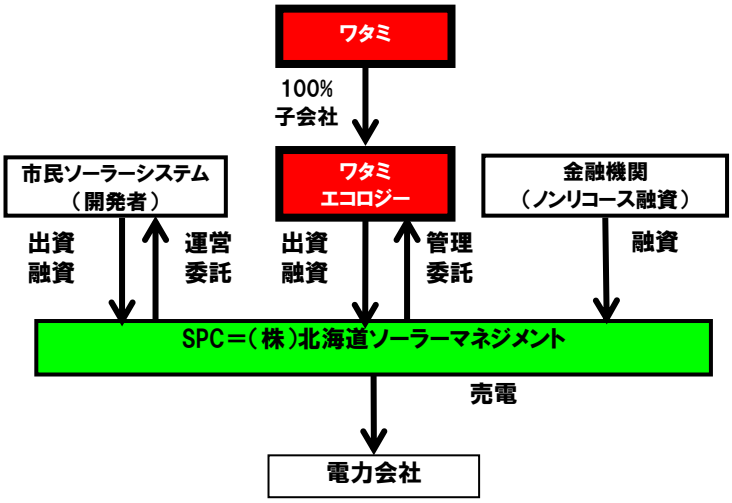
■太陽光発電事業の経緯

ワタミグループは再生可能エネルギー事業の強化と、グループのＣＯ2 削減を推進することを目的として、風力発電並びに自社の食品製造センター13 箇所の屋上にソーラーパネルを設置する計画をたて、2013 年 10 月から順次稼動しております。また、更なる再生可能エネルギー事業の推進に向けて、市民ソーラーシステムと連携して、北海道内でのメガソーラー事業に参画し、昨年 12 月に北海道勇払郡厚真町にて着工し（発電容量 15MW、年間発電量 16,000 千 kWh）、本年 12 月より本稼働を予定しております。

■事業の概要

北海道むかわ町において、大学誘致計画が頓挫して活用されていなかった約 100ha の用地の有効活用として、市民ソーラーシステムが SPC（株式会社北海道ソーラーマネジメント）を組成し、メガソーラー事業の開発、並びに計画を進めておりました。今回、ワタミ株式会社の 100％子会社でワタミグループの環境事業を推進するワタミエコロジー株式会社は、当 SPC に 50%の出資・融資を実行することにより、事業に参画することとなりました。地域に根ざした長期的な用地活用のために、敷地 100ha のうちソーラーパネルの設置として約 30ha を活用、残りの 70ha は林地として、森林再生事業、並びに有機農業での活用を検討してまいります。

事業規模　①敷地：約 100ha
　　②太陽光発電容量：約 19MW
　　③年間発電量：約 20,000 千 kWh
総事業費：約 60 億円
買取価格：43.2 円（税込）
売電先：北海道電力
ワタミグループの役割：
　プロジェクトマネジメント等の事業管理全般
　グループ事業と地域との連携
市民ソーラーシステムの役割：
　事業計画・開発全般、オペレーション、
　保守メンテナンス



■ワタミグループの再生可能エネルギー事業

2012 年 3 月より秋田県にかほ市にて、「ワタミの夢風車 風民（ふーみん）」を稼動し、風力発電事業に参入しました。現在は、秋田県にて 3 基の風車が稼動しており、合計で 6,000kWh の出力となっております。第 1～2 基のメガソーラーが稼働することで、合計でワタミグループの電力の約 35％相当を再生可能エネルギーとして発電することになります。

今後も、ワタミグループは地球で事業活動を営む企業の責任として、環境宣言『美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく』の実現に向けて、一層の地球環境負荷低減を推進してまいります。

■本件に関するお問い合わせ先

ワタミ株式会社　　社長室 広報　矢野　正太郎
〒144-0043　東京都大田区羽田 1-1-3
電話 03-5737-2784　E-mail:press@watami.net

株式会社　市民ソーラーシステム　事業開発部長　竹内　聖
〒060-0061 札幌市中央区南 1 条西 6 丁目札幌あおばビル 10F
電話 011-232-0023　E-mail: info@cssc.co.jp

ECO FIRST ワタミグループは エコ・ファースト企業です。
地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。
WATAMI
CSS Community Solar System Corporation